

2024年 12月 24日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院緩和ケア病棟における予後予測ツール Palliative Prognostic Index(PPI)の妥当性についての検討

2. 研究責任者

海南病院緩和ケア内科 青木佐知子

3. 研究の概要

近年、緩和医療における患者の予後評価は、治療方針の決定や患者の QOL(生活の質)向上において重要な役割を果たしています。一般的に、医師の予後予測の見積もりは楽観的（実際よりも長く見積もりがち）ということが知られています。特に緩和ケア病棟では、患者の治療方針の決定、適切なケアの提供、患者家族への説明や療養支援に際して、生命予後の判定が重要となってくる場合が多いです。Palliative Prognostic Index (PPI) は、緩和医療においてがん患者の予後を評価するための予後予測ツールであり、当院緩和ケア病棟では入院時から定期的に評価を行っています。今回その妥当性について検討を行いました。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2024年3月1日から2024年11月30日までの9ヶ月間に当院緩和ケア病棟を死亡退院された患者

②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：入院期間、入院時の PPI

PPI は以下の 5 つの要素から構成されています。

- 1) パフォーマンスステータス (Palliative Performance Scale) : 全体的な健康状態を評価します。
- 2) 経口摂取量 : 食事の摂取状況 (数口以下、中等度減少、正常) を評価します。
- 3) 浮腫 (両側性浮腫のみ) : 身体のむくみの有無を確認します。
- 4) 安静時呼吸困難 : 安静時における呼吸困難の有無を評価します。
- 5) せん妄 (つじつまの合わない話しかできない) : せん妄 (意識の混乱や認知機能の低下など) の有無を評価します。

上記を点数化した値が PPI の点数となり、0 点から 15 点でスコアリングされます。

カットオフ値の設定があり、PPI が 6.5 以上の場合は生命予後 3 週間以内、3.5 以下の場合には生命予後 6 週間以上、10 点以上の場合は週単位、15 点は日単位の生命予後とされています。

個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

5. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 緩和ケア内科 青木佐知子
電話 : 0567-65-2511 (代表)